

令和4年6月 川口市議会定例会

市長の所信と報告

川 口 市

本日、6月市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、公私にわたり大変ご多用の中、ご健勝にてご参集を賜り、厚く御礼を申し上げます。

提案理由の説明に先立ちまして、お許しをいただき、所信と市政に関する報告を申し述べたいと存じます。

私は市長就任以来、市保健所による独自の新型コロナウイルス感染症対策など中核市のメリットを最大限に活かした事業を着実に進めるとともに、子育て・保育環境のさらなる充実や、市内経済の活性化、都市基盤整備の推進など選ばれるまちづくりの推進に全力で取り組んで参りました。こうした本市の取り組みが、「本当に住みやすい街大賞」に2年連続1位を含む4年連続でランクインするなど市内だけでなく市外の方からも高い評価をいただいているところであります。

改めて市政が大きく前進していることを強く感じ、これからも発展し続けるまちであると確信したところであります。

そのためにも、これまで取り組んできた様々な施策の継続に加え、時代の変化に対応した新たな取り組みも取り入れていくことが重要であると考えているところであります。

そこで私は「住みやすいまちを超えてさらなる選ばれるまち川口」をスローガンに、今後の市政運営の重点施策として新庁舎2期棟建設、グリーンセンターの再整備、リア大規模改修を新たな3大プロジェクトに位置づけるとともに、自然保護の推進など環境に配慮したまちづくりや、文化施設の増設などによる文化・芸術の高揚、さらには若年層の雇用促進など働きやすいまちづくり、防犯、防災力の強化を図る安全・安心なまちづくりの推進など、引き続き本市の発展を

支える政策を推し進め、住みやすいまちから、このまちに住んで良かった、これからも住み続けたいと思うまちの実現に全力で取り組んで参ります。

次にウクライナ問題であります、ロシアによる軍事侵攻に伴い、多くの方が国外への避難を余儀なくされており、現在市内には4人の方が避難されてきております。

避難された方々が少しでも安心して暮らせるように、かわぐち市民パートナーステーションに生活相談窓口を設置するとともに、緊急的な人道支援として、生活必需品を揃えた市営住宅を提供できる体制を整えており、1人当たり10万円の見舞金の支給も開始しているところであります。

今後も、国、県、関係団体と連携を図りながら避難民の方々の、個々の状況に応じた適切な支援に努めて参ります。

次に、新型コロナウイルス感染症についてであります。

本市の感染状況については、6月1日までに、47,430名の方が陽性と確認され、140名の方がお亡くなりになりました。

謹んで哀悼の意を表しますとともに、治療中であります方々に心からお見舞いを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、国内初の感染者が発生してから2年半になろうとしており、第6波の感染状況では、第5波に比べると、ピーク後の新規感染者数の減少ペースはゆるやかで依然として高い水準で増減を繰り返している状況にあります。ワクチン接種が進んだことや治療薬が開発されたことなどが功を奏し、重症者は大幅に減少しております。

こうした状況の中、行動制限の解除や、政府からマスク着用に関する見解が発表されるなど、社会経済活動等の正常化に向けた取り組みが進みつつあり、本市においても、今後の感染状況を注視しながら、対策を講じた上で、たたらまつりなどのイベント等を再開していきたいと考えております。

未だ、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えていないこともあり、市内の医療提供体制や保健所機能を保持しつつ、4回目ワクチン接種も迅速に進めて参ります。

今後も、引き続き市民の皆さんの大切な命と健康を守るため、感染状況を見極めながら、適時適切な感染防止対策を進めるとともに、ポストコロナを見据えた政策の推進についても鋭意取り組んで参る所存であります。

それでは、市政に関しまして、数点ご報告を申し上げます。

第1点は、川口駅周辺まちづくりビジョンについてであります。

本市では、川口駅周辺の整備の指針として、昭和58年に策定した「川口駅周辺市街地整備構想」に基づき、東西口の再開発や歩行者用デッキ、環状道路の整備等様々な事業を推進して参りましたが、本構想の策定から40年が経過し、人口流入や社会情勢などの変化に伴い、利便性や安全性などに課題が生じてきたところであります。

こうした中、優先的に取り組むべき事項やその実現に向けた方策を示すため、昨年7月に検討会を設立し、議論を重ねた結果、本年3月に「川口駅周辺まちづくりビジョン」を新たに策定したところであります。

本ビジョンでは、将来の川口駅周辺の多様な働き方や暮らし方を想定し、回遊性や都市機能など6つの分野ごとに取組方針を定めております。

この中で、中距離電車の川口駅停車等を目的とした交通拠点のリニューアルや、生涯を通じて楽しく豊かな時間を演出する、多目的文化芸術拠点の増設・整備など、5つのプロジェクトを掲げ、優先的に取り組んで参る所存であります。

第2点は、イイナパーク川口についてであります。

川口パーキングエリアと連結し、一体的に整備した首都高速道路初のハイウェイオアシスが完成したことにより公園全体が開園いたしました。

これにより、一般道からだけでなく首都高速道路からもアクセスが可能となり、高速道路を降りずに公園や地域を散策することができるようになったところであります。

新たに建設された商業施設では、川口の鋳物で作られた羽釜で炊き上げたご飯が提供されるとともに市内の名品も取り揃えられているほか、関東最大級の全天候型の親子の遊び場「アソブーン」には、シンボルとなる大型遊具、川口の植木など自然を感じられる中でのままごと遊びや読み聞かせのできる場所などが設置されており、大人から子どもまでが楽しめる水と緑のオアシス空間となっております。

また、4月24日には関係する多くの来賓の方々に出席いただき、開園記念式典を開催し、多くのメディアに取り上げられたこともあり、翌25日の開園には、早朝から多くの方が来場され大変な賑わいをみせました。

さらに、川口ハイウェイオアシスとイイナパーク川口の行き来ができることの相乗効果により、公園北側の環境学習の場や、歴史自然資料館、子ども向け大型

遊具フワフワドームにも、市内外から多くの方が来場され、ゴールデンウィークには、高速道路の利用者を含む10万人もの方にお越しいただき、川口では、グリーンセンターの来場者数にも勝る集客施設になることを確信しております。

市民の方からも開園に対して感謝のお手紙までいただき、この公園を整備してきた本当に良かったと思っているところでもあります。今後は、こうした川口の魅力を全国へ広く発信して参りたいと存じます。

第3点は、川口市立高等学校についてであります。

今年の3月には、校舎・グラウンドを含めた全ての施設整備が完了し、生徒が充実した学校生活を送ることができる環境が整ったところでもあります。

そのような中、令和3年度の国公立大学の合格者数は、前年度の35人を大きく上回って50人となり、着実に進学実績を伸ばすことができました。この成果は、生徒たちの努力はもとより、多くの方のご理解とご支援のもと教育力向上への取り組みが実を結んだものと、関係者の皆様に深く感謝する次第であります。

さらに、今年度は、開校前からの目標の一つであった文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール」に指定されることとなりました。これは、将来の国際的な科学技術人材の育成を図るため、文部科学省が先進的な理数系教育に重点を置いた指導やカリキュラムの研究開発を行う学校を支援する事業で、全国の名立たる進学校と同等の指定を受けたものであります。

これまでも川口市立高等学校では、理数科を中心に自ら課題を発見し、考えるプロセスを重視する授業を先行して取り入れてきましたが、今後5年間の指定期間では、多くの大学や研究機関と連携しながら、体験学習や実験、考察、成果発表といった、研究者と同様の手法を用いた授業の体系を構築し、この実績をモデ

ルケースとして普通科へも展開して参ります。また、市内小中学校へも情報発信するなど、科学分野への興味関心に繋がる取り組みを進めて参ります。

生徒たちには、国内外での研修や全国的な研究発表会、コンテストへの参加を通じて、知的好奇心を刺激し合える同世代の仲間と交流し、互いに切磋琢磨しながら、科学的視野を広げる機会にしてもらいたいと考えております。

これらの幅広い活動が、生徒たちの学ぶ喜びと未来への想像力を育み、将来、川口市立高等学校から科学技術創造立国を目指す我が国をリードする人材が輩出されることを期待するものであります。

第4点目は、「“元気”川口商品券」についてであります。

本市では、これまでコロナ禍における小規模事業者等事業継続緊急支援金や、従業員等の働きやすい就労環境づくりに対する支援金、店舗における感染症対策に関わる工事及び備品購入に対する補助金など、様々な経済対策を実施して参りました。

今後は社会経済活動の活発化により、市内経済の回復に向けての機運が高まることが期待されておりますが、めまぐるしく変化する世界情勢に伴う物価高騰が進む中、消費意欲の低下も懸念されることから、継続的に地域経済の好循環を創出する支援が必要であると考えているところであります。

そこで、引き続き、過去最大級の発行総額となる24億円規模のプレミアム商品券事業を支援し、これまで新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少している飲食店や生活関連サービス業等における更なる消費を促すなど市内経済の底上げを図って参りたいと存じます。

さて、今回提案いたしました議案は、予算議案2件、条例等の一般議案32件であります。

予算議案につきましては、一般会計において、総合文化センター維持補修費等に係る43億4,391万円の補正を、特別会計では、小型自動車競走事業特別会計において、1億9,250万円の補正をそれぞれお願いするものであります。

次に、一般議案であります、「川口市税条例等の一部を改正する条例」など、条例議案7件、契約議案5件、財産の取得議案4件、専決処分の承認議案5件、公の施設の指定管理者の指定議案3件、市道路線の認定及び廃止議案6件、人事議案2件であります。

それぞれの議案内容につきましては、この後、副市長から説明を申し上げますので、慎重にご審議を賜り、ご可決下さいますようお願いを申し上げます。